

WEEKLY REPORT No.1301

<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1526回例会

委員長所見

平成27年7月9日(木)

於 名古屋東急ホテル

会員 57名

出席計算数

49名中44名出席

出席率 89・80%

前々回出席率 100%

例会プログラム

★誕生日のお祝い

★ハーステールソング・手締め

★春日井社会奉仕委員長

・ふれあい交通安全交通安全案内

★林富徳会員 会葬のお礼

★委員長所見

ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

ニコソックス

クラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、青少年奉仕委員会、各委員長様、所見よろしくお願ひいたします。

丹下 富博・高木 政義

名古屋ナモ締めを覚えてみましょう。

ナモ ナモ ナモ

ナモ ナモ ナモ

ナモ ナモ ナモ

ナモ ナモ ナモ

3、3、2、3と覚えてみましょう。

酒井 修

会長挨拶

会長 田崎 雅三



昨日娘の誕生日、私似でかわいく育ちました。 大原 敏正
先日は、父の告別式で大変お世話になりました。 林 富徳

「こんにちは、ご存知の方も多いと思いますが、今日は今年度の特別月間についてご紹介いたします。『ロータリーの特別月間』として明記されるようになったのは1980年手続要覧からだとす。1986年の特別月間は、9月/青少年奉仕、10月/職業奉仕、11月/ロータリー財団、2月/世界理解、4月/雑誌、以上の5か月のみ設定されていきました。特別月間の目的は、クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加することを強調するために設けられたものです。15-16年度ロータリーの特別月間は、重点分野を強調するものに変更となりました。

変更となりました。

- 7月 なし
- 8月 会賞増強・拡大月間
- 9月 基本的教育と識字率向上月間
- 10月 経済と地域社会の発展月間 / 米山月間
- 11月 ロータリー財団月間
- 12月 疾病予防と治療月間
- 1月 職業奉仕月間
- 2月 平和と紛争予防/紛争解決月間
- 3月 水と衛生月間
- 4月 母子の健康月間
- 5月 青少年奉仕月間
- 6月 ロータリー親睦活動月間

※本年度の地区月間はございません。

- 昨年度の特別月間は、
- 7月 ロータリー意識高揚月間(地区)
- 8月 会賞増強及び拡大月間
- 9月 新世代のための月間
- 10月 職業奉仕月間/米山月間
- 11月 ロータリー財団月間
- 12月 家族月間
- 1月 ロータリー理解推進月間
- 2月 世界理解月間
- 3月 識字率向上月間
- 4月 雑誌月間
- 5月 私の心に残るロータリー体験を語る月間(地区)
- 6月 ロータリー親睦活動月間

委員長所見

クラブ奉仕委員長 大原 敏正さん



今年度のクラブ奉仕委員会は、例会時の卓話を田崎会長よりテーマを与えられました。それは「健康」です。健康を気に掛けない方は一人もいらっしゃらない訳でありまして、テレビやマスコミ、インターネットでの情報番組では「グルメリキ」と「健康」を取り上げれば間違いなしと言われています。皆さんも口頃から多くの情報をお持ちかと思えます。今回も委員の皆さんにアンケートをお願いしまして健康に関する興味対象を伺いました。限られた数の回答でしたがその結果を元に、検討して卓話を決めました。また、会員の方から卓話講師の推薦も頂きました結果、普段お目にかかる事も出来ないような方からもお話を聞かせて頂く事が可能となりました。また何人かの会員の方にも卓話の講師依頼をしまして快諾を頂きました。この場を借りてご協力

頂きました会員の皆様にお礼を申し上げます。と思います。

8月までは例会はロータリーの行事が詰まっていますが、9月からは月に2回程度は開催できるような準備をしています。

9月からの例会卓話のスケジュールは1ヶ月前のホームページで卓話の事前抄録と共に紹介していく予定です。魅力あるコンテンツと広報活動で会員のホームクラブ参加が増え、また他クラブからのビジター者の増加や、ひいては新入会員に繋がるものと委員会として考えております。演者の方々は大学での研究者も多く、エリテンスに基づいた卓話を頂く予定です。卓話は原則30分で、なかなか満足感を得られにくいものですが、話慣れた方ばかりですので短い時間で也十分楽しく理解して頂けるものと思っております。

後半はいよいよ会員による卓話もあられますが、未だ決まっていないうころもありますので、卓話に適した情報をお持ちの方は是非一報頂きますようお願い申し上げます。紹介の労を執って頂かなくても興味があるだけでも我々委員会でご折衝しますので宜しくお願いいたします。

クラブ奉仕委員会ではこの他にニコボックスを担当します。今までも多くの会員の方のご理解と協力によりニコボックスが充実してクラ

ブのさまざまな奉仕事業に役立つていますが、特に今年度は大きな社会奉仕事業がありますので、その成功に向けてニコボックスの充実にご理解と協力を頂きますようお願いいたします。会員のひとり一人のお祝い事を、会員皆で祝いすることで益々親睦が図れ、温かな大須ロータリークラブに近づけて行きたいと思っています。

会場運営委員会、S.A.A.、広報委員会と連携をとって「エリテンス・コミュニケーション」の実現を目標に委員一同頑張りますので、一年間宜しくお願いします。

委員長所見

職業奉仕委員長

宇野 史子さん



今年度職業奉仕委員長を仰せつかりました宇野です。今年度の職業奉仕の活動といたしましては、WFF（ワールドフード・フォー・ラブ・フェスタ）が10月24、25日に開催されますので、その全員の積極的な参加を促してまいります。

前回参加したときには多くの出展者と同時にポリオについてのロータリー活動などが記載してありました。なぜ、それが必要なのかといえはロータリー活動を世の中に知ってもらうという一つの動機づけでもあるからです。

私たち職業奉仕委員会は自分たちの職業を通じて、いかに社会に奉仕をし、貢献できるかという部分にこだわっていきたいと思っています。ぜひ、皆様方のご参加くださるよう心からお願い申し上げます。

あとは、毎年参加をさせていただいている名古屋YMCA主催のチャリティーランにチームとして参加をいたします。毎年多くの方にチャリティーランは参加を頂いていますが、今年度は今までの以上に多くのの方に、応援でなく走者としても参加いただければと思っています。

毎年やっていることで段取りや流れは理解できるものになりまして、このチャリティーランを通じて社会貢献しているという流れは非常にいいことだと自負しております。なによりも走ることで社会貢献できる素晴らしいを実現いただけるのではないのでしょうか。

そして、2月3日大須観音様での節分例会。この例会は会員皆様が非常に楽しみにしておられる行事の一つで本当に大須ロータリー

でよかったです、と実感ができる行事だと思っています。また、岡部快園さんのお話も楽しみで、いつもわくわくしております。言葉も一年に一度の楽しみで本当に素晴らしい行事だと思います。

そして、今年度の行事の最大の職業奉仕といたしまして「海外例会」をしようとして、委員会でも熱く議論することになりました。会長、幹事、副会長に強く後押しをいただき、今回は国際奉仕委員会合同で行える行事になります。場所は大方のご判断を頂いておりますが皆様のご参加を期待して、また改めてご紹介をさせていただきます。

僕はロータリー活動の職業奉仕に心を惹かれ、仕事を通じて社会貢献することに関心しております。「僕が一生懸命働くことで世界が幸せになれるなり。」そんな気持ちを抱き、日々仕事に取り組んでおります。今はまだ若く、仕事のことを中心でまだまだボランティア活動であったり社会情勢に重きを置くことが難しい状況ですが、あと5年、10年で、僕もきつと先輩たちのように立派になれると信じて、今はまだまだ修行の身とらえ、どんな仕事でも、どんなことでもそれに逃げずに立ち向かい、前を見て行動をしていこうと思います。

思っただけでなく、真剣に一歩前

に出ています。誰かがやる。そうではなく、まずは僕が率先してやってみることに。それをすれば多くの人が賛同し、その行動に続くことになると思っています。ただ社会に貢献できるかわかりませんが、とにかく今年度は精いっぱい職業奉仕委員会活動に取り組みたいと思っています。ありがとうございます。

委員長所見

青少年奉仕委員長

川畑 博敏さん



ロータリーの青少年奉仕委員会はインターアクト、ロータリーアクト、ライラセミナー、青少年交換留学を中心に活動をしています。

しかしながら、青少年奉仕は児童虐待防止、薬物乱用防止、いじめ防止なども活動範囲とされています。今年度、当クラブで開催する危険ドラッグ撲滅キャンペーン活動の中でどの様な活動ができるかが、今後の青少年奉仕委員会活動のテストケースになると考えて

います。

具体的にまだ活動内容は未定ですが積極的に参加する予定です。

また今年度は、青少年交換生として渡辺観永さんのご子息 渡辺 玄君をブラジルに派遣します。玄君は星城高校の1年生で、名古屋インターアクトクラブにも在籍されています。来週7月16日例会で、玄君の壮行会をおこないます。

また、今月の7月28日にブラジルに向けてセントレアから出発します。国際線出発ロビー付近で朝の8時10分に集合してみんなで見送りたいと思いますので、関係がないと思われの方も参加ください。

渡辺観永さんは玄君に対して、性格は親に似ず真面目すぎるくらいがあり、ブラジルでは少し強けてもらいたいと願っています。

さて最後に、本年度ブラジルから来口する留学生について副委員長 渡辺観永さんより紹介をしていただきます。



その他・お知らせ

派遣青少年交換生 報告

「マンズリーレポート」

青少年交換生 伊藤 彩香

こんにちは。こちらに来て10ヶ月がたち、アメリカでは3ヶ月の夏休みが始まりました。6月13日から27日の二週間、アメリカ東海岸ツアーに参加し、フィラデルフィア、ワシントンDC、ナイアガラの滝、ボストン、そしてニューヨークへ行きました。



フィラデルフィアはアメリカ独立宣言書が採択された場所、というところで独立記念館、自由の鐘へ行きました。アメリカ

カの独立記念日7月4日がもうすぐということだったので、フィラデルフィアの町がお祭りのような感じで、パレードなどもあり、町散策もとても楽しく、またアメリカの歴史をたくさん学ぶことができました。



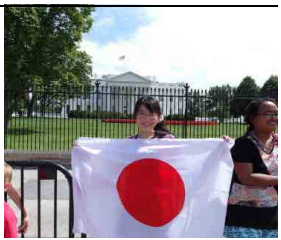
フィラデルフィアの次はアメリカの首都ワシントンDCへ行き、アメリカで一番大きいカトリック教会、リンカーン記念堂、ワシントンモニュメント、アメリカ国会議事堂、アメリカ議会図書館をはじめとした有名な映画の中で見たことのある場所に行くことができました。

この建物も美しく、歴史があり、ガイドの方のお話もたくさん聞く事ができ、これらの価値ある建造物を世代を超えて伝えていくためにいろいろな努力がなされているんだと改めて感じました。夜に訪れることもでき、ライトアップされた夜の姿は風のものとはまた違った美しさが見られてとても私は好きでした。

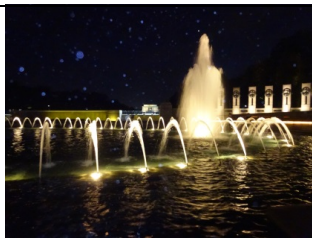
また、第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争戦没者慰霊碑にも行き、戦争がどれだけ大きく悲惨なものだったか、そしてどれだけたくさんの方々がなくなっただかを物語っている場所でした。

ワシントンDCにはこのように記念碑をはじめ、たくさん大きな国立博物館があり、全部の博物館にいくには時間ももつとも必要でした。限られた時間の中で、自分たちで考えて次にどこに行くか、何をしたいかを話し合ったりする中で、たくさん新しい友達も増えて、充実した時間を過ごすことができました。

この日のワシントンDCは気温が30度以上を超えていて、ミネソタの涼しい気候で1年過ごしていた



た私にとって は本当に暑い 天気で、思わずアイスクリームを買ってしまつということも多々ありました。



5日目には バスで半日ほどかけて暑いワシントンから、ナイアガラの滝に行きました。バス

での長時間移動も友達とトランプをしたり、ゲームをしたり、歌ったり、たくさんのお話をしたりと、新しい友達をつくり仲良くなることも良い機会でした。みな留学して1年程が過ぎているのでもコミュニケーションの点でもほとんど問題なく、またたくさん経験、思い出、いろいろなことがこの一年にあったので話題が見つかることがなく、とても充実した楽しい時間で、音楽がかかるのもよつとしたパーティーがバスの中で起こりました！

アメリカ最大の滝ナイアガラの滝は本当に大きかったです！ボートに乗って近くまで行くことができ、ポンチョが事前に配られたのですが、戻ってきたときには上半身はほとんどびしょぬれでした！ナイアガラの滝はアメリカとカナ



ダの国境にあるので、滝の向こうは違う国なんだと思うことも不思議な気分でした。実際バスボートを持っていれば橋を渡ってカナダに行くことができるそうです。滝を橋の上から見ることができ、そこからの眺めも素晴らしいです。いったいどこからこれだけの量の水がくるんだと自然のすごさを改めて実感しました。

7日目にはボストンに行き、ハーバード大学や古い町並みを見ることができました。水陸両用のバスに乗り市内探検をすることができ、港からの眺めはともきれいでした。夜のボストンを歩くこともでき、ボストンがこのツアーで私の一番好きな場所です！

8日目には遊園地に行き、アメリカンサイズのジェットコースターに乗り、ウォーターパークでもたくさんスライダーに乗り...

これが私にとってのアメリカでの初めての遊園地でしたーとても楽しかったです。

ボストンのあとはツアー最後の都市、ニューヨークに向かい、バスの窓に顔を寄せて少しずつ見えてくるニューヨークシティをみんなであわわくわくしながら眺めています！

世界の中心ニューヨークは本当にいろいろな文化が混ざっていてとても面白かったです。セントラルパークをサイクリングして、国際連合に行き、自由の女神を見て、ウォールストリート、タイムスクエア、ブロードウェイのショー、などニューヨークでしかできないことを思いっきり楽しむことができました！

9・11のワールドトレードセンターに行く機会もあり、今では2つの大きな水の記念碑の隣に、100階を超える超高層ビルが建っています。102階まで上がることで、そこからニューヨークが一望できました。あの9・11からまだ10年ほどしかたっていないですが、今ではまた新しいビル



ルが建ち、平和のシンボルとしてニューヨークにそびえています。

私がニューヨークで「これが留学生として役に立てる」と感じたことがあります。

た友達の中に台湾からの留學生の子がいたのですが、チャイナタウンでレストランに行った際、店員の方との英語でのコミュニケーションが少し難しかった点があり、彼女が中国語を使いながら私たちに、メニューについてなどを説明してくれて、とても助けになりました。自分ができるところを活かして誰かを助けてあげられる、それが私たち留學生にできる1つのことではないかなと感じました。

リムジンで夜のニューヨークを見る経験もでき、ブルックリン橋からみたニューヨークの夜景は本当にキフキフしていました。その後はニューヨーク郊外のビーチに行き、のんびり過ごし、留学生同士で小さなタレントショーを行ったり、夜にはパーティーをしたりと最後の最後まで本当に素晴らしい楽しい2週間のツアーで

した。一週間ずつ一緒に過ごす、みんなに色々な事を言っのが本当に寂しかったです。しかしこのよつな素晴らしい友達、思い出経験を作ることができた楽しい2週間は絶対に忘れません。

2週間の楽しいツアーの後、ダルースの空港に到着し、迎えてくださったホストファミリーを見た瞬間、家で帰ってきたんだ、という気持ちでいっぱいでした。

この一年で私は本当にたくさんの素晴らしい経験をする事ができ、たくさん素敵な家族、友達、そして新しい帰る場所を作ることができました。



「See you again!」と別れることができた。

留學生の一番つらいことは最後には別れを告げなければいけないことです。ここで出会えたからこそ別れがあり、出会えたからにはまたいつかどこかで会うことができるチャンスが必ずあるという事です。ここで素晴らしい仲間に出会えたことに本当に感謝しています。

「じやってたくさん皆さんの友達が順番に帰国していると、私の番がもうすぐ来てしまつた毎日感じています。残り三週間ほどの私の留学生生活をどう過ごすか。一生に一度しかないこの一年をどう終わらせるか。これが私の最後のこの役目かなと思います。

そして最後にここでお世話になった方々の感謝の気持ちを伝え、「See you again!」と笑顔で伝えることができればいいなと思います。

これが私の派遣生としての最後のマンスリーレポートになります。ロータリーの留學生としてこちらに来て、たくさん楽しいこと、つらいことを経験し、たくさん家族と友達を作り、私の世界は大きく広がりました。本当にここにくることができてよかったです。家族、友達、ロータリーの方々、支えてくださった皆様に本当に感謝しております。

1年間本当にありがとうございました。

This will be my last monthly report as an outbound exchange student. I came here as a Rotary Youth Exchange student, and I had many fun things, hard things. I experienced many things, and I made new families and friends. My world changed a lot through this year's these experiences.

I am so glad I could come here as an exchange student. I appreciate families, friends, and everyone who supported me for one year. I couldn't make like this great year without your support.

Thank you so much.

* 伊藤彩香さんより、英文メッセージ

7月23日(木)例会の案内
SPEAK OUT DAY

7月30日(木)例会の案内
ガバナー補佐訪問

西名古原分区分ガバナー補佐
近藤 雅夫様
地区副幹事 加藤 令吉様
分区分幹事 浦野 廣高様

広報委員会

大澤 伸悟・杉浦 令淑

前田 隆久

*本文は、原則、頂いた
原稿を転載しています。